

# 個別サービスの提供に向けた“現場に活かす”ケア計画の考え方

**日程** 2019年8月6日(火) (10:00~16:00)

**対象者** 介護福祉関係者 推奨職員:(初級~中級・介護職) 及び興味のある方

**料金** 会員(法人・個人)8,000円 ・ 一般10,000円

**会場** 振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階) みなとみらい線「日本大通り」駅 徒歩5分

介護現場では「経験」や「コツ」はとても大切ですが、それだけに頼るケアや誰かの頑張り依存するケアには限界もあり、一つひとつのケアの目標や意図をチームで共有してチームケアの実践にあたることが求められます。そんなチームケアを実践するために、ケアに携わるチーム皆で共有する“拠り所”が重要となります。本研修では、「ケア計画」(注:一般的な定義を持つ言葉ではなく、居宅サービス計画や施設サービス計画をより現場のケア実践レベルに具体化したものを想定)をケアの“拠り所”として、居宅サービス計画や施設サービス計画をこの「ケア計画」に繋げるプロセスと、チームとして個別ケアを実践していくためのポイントを学びます。

## 【講師】

介護老人保健施設 みどりの杜

相談課課長 齊藤 祐介



デイサービス、認知症高齢者グループホーム、介護老人保健施設等で介護職や相談援助職として勤務。その後、認知症介護研究・研修東京センターの研修指導員、介護福祉士として都立特別支援学校(肢体不自由)での勤務を経て、2012年より現職。介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員。認知症介護指導者。日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科修了。

## 《カリキュラム》

- ◆“現場に活かす”ケアのプロセスの理解
  - ◆「居宅サービス計画書」 「施設サービス計画書」 を現場のケア実践につなげていく
  - ◆課題の把握~ケアの思考展開、 ケアの目標設定と共有のプロセス
  - ◆ケア計画の表現のポイント、 作成の留意点について
- 《《事例演習》》
- ◆事例を通して、実践に活かすケアの計画 プロセスを体験してみよう。



法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。		
事業所名			
会員種別	( ) 会員	( ) 個人会員	( ) 一般
個人会員番号			
連絡先	〈住所〉 〒 _____ ( 自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所 )		
	〈mail〉	_____ @ _____	
	〈電 話〉	_____ - _____	〈ファックス〉 _____ - _____
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係( _____ ) ⑩ その他のサービス( _____ )		

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行  
**FAX: 045-671-0295**  
**TEL: 045-210-0788**  
 〒231-0023 横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階

## <参加者名簿>

お申込合計人数 ( \_\_\_\_\_ 名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他( _____ )	_____ 年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他( _____ )	_____ 年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他( _____ )	_____ 年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
連絡事項					